

ボツリヌス療法(ボトックス注射)とは

ボツリヌス療法とはボツリヌス菌が作り出す天然のタンパク質を有効成分とする薬を筋肉内に注射する治療法です。主に筋肉を緊張させている神経の働きを抑える作用があります。

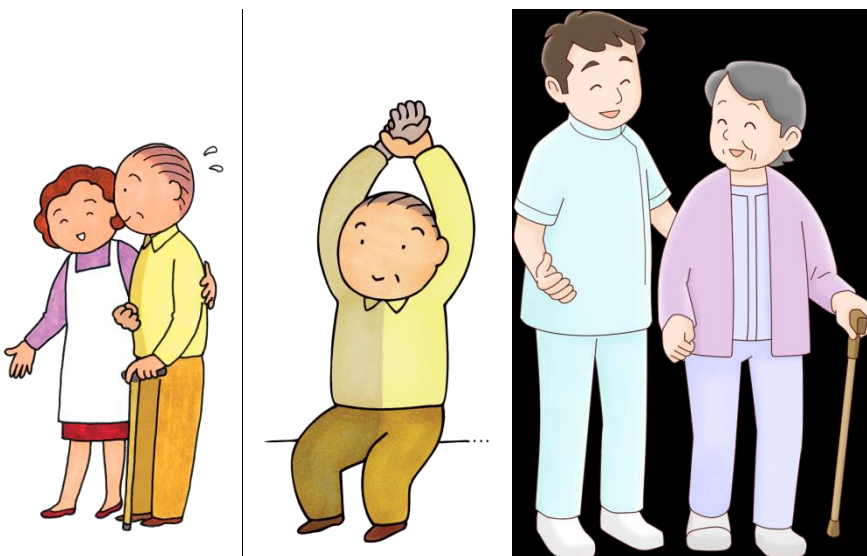
主に脳卒中の後遺症である手足のつっぱり（痙縮）に対して、ボツリヌス療法(ボトックス注射)を実施しています。

※ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので、ボツリヌス菌に感染する危険性はありません。



ボツリヌス療法の効果

- ①手足の筋肉が柔らかくなり、動かしやすくなることで、日常生活動作(ADL)が行いやすくなるのが期待できます。
- ②関節が固まって動きにくくなったり、変形するのを防ぐことが期待できます。(拘縮予防)
- ③手足の筋肉のつっぱり(痙縮)をやわらげることで、痙縮による痛みを緩和する効果が期待できます。
- ④リハビリテーションが行いやすくなるのが期待できます。
- ⑤介護の負担が軽くなるのが期待できます。



当院のボトックス注射までの流れ

ボトックス注射までの流れ

診察① ・受診し医師とボトックス注射が適応か判断します。
※飲んでいる薬によっては行えない場合があります。

相 談 ・リハビリスタッフと注射を打つ場所と薬の量の相談をします。

診察② ・注射の1カ月前に受診し同意書を書いていただきます。
・実施日を決定します。
・注射の1週間前に受診し最終確認を行います。

実 施 ・担当のリハビリスタッフが身体に注射を打つ場所に印をつけてから行います。

ボツリヌス療法の注意点

①痙縮そのものが治るわけではありません。ボツリヌス療法により痙縮がやわらぎ、日常生活動作やリハビリテーションが行いやすくなることを目的としています。

②ボツリヌス療法の効果期間は3~4カ月程度です。その後は効果が消えてくるため繰り返しボツリヌス療法を受ける必要があります。

③ボツリヌス療法によって痙縮が和らいでもリハビリテーションを行わなければ機能の回復は望めません。ボツリヌス療法とリハビリテーションを一緒に行うことによって日常生活動作の向上を目的としています。

備 考

各自治体などで身体障害者への医療助成を行っており身体障害者手帳の取得によって全額または一部が免除される場合があります。また医療費が一定の金額を超えた場合に発生する高額療養費制度も存在するため利用を検討する場合はこのような助成制度を活用することをお勧めします。

ご不明な点がある場合は当院へご連絡ください。